



舞鶴市立明倫小学校
令和8年1月30日
2月号



子どもたちの健やかな成長を願って

2月3日は節分です。節分は「季節を分ける」という意味がありますが、大雪の続く日々に、春はまだ遠く感じられます。それでも暦の上では、もう春が訪れようとしているのですね。

節分の行事で、邪気を払うために「鬼は外、福は内」と唱えながら豆をまく風習があります。子どもの頃、私の家では、数え年の数の豆を半紙に包み、母がその豆で私たちきょうだいの体をなでながら「頭がよくなりますように。目がよく見えますように。おなかが痛くなりませんように。手先が器用になりますように…」と願いを込めてくれました。

豆の包みを家族分持って、家の近くの辻(四つ角)に捨てに行くのは子どもの役目です。鬼がついてこないように決して振り返らず、無言で家まで帰ります。暗い夜道を戻る時間は、ドキドキしてとても怖かったのを覚えています。現在なら不法投棄と叱られそうですが、当時は、他の家でも行っており、翌朝には辻々に豆の袋が破れて鳥のえさになっていました。子どもの健やかな成長を願う、家族の愛情深い行事だったのでしょう。病気や弱い心を追い払い、健康と幸福を招き入れる節分の行事を、これからも大切にしていきたいものです。

まいづる海保カレーに舌つづみ!

本校では、1月26日から30日まで給食週間を実施しました。舞鶴市では、3学期から小学校給食が無償化され、地域の皆様には、給食を通して子どもたちの成長と健康を見守っていただいている。給食週間中は、望ましい食習慣や食に関する正しい知識を身に付けること、そして食に関わる人々への感謝の気持ちを育むことを目指し、食育の授業や郷土料理の提供、また東京五輪のホストタウンとして交流が続くウズベキスタンの料理を献立に取り入れるなど、さまざまな工夫を行いました。その一つとして、本市の特色である「まいづる海自カレー」と「まいづる海保カレー」が給食に登場しました。26日の海保カレーの日には、鴨田市長や恵谷海上保安部長がお越しください、「私たちが入港日に食べるカレーを味わってください」とご挨拶いただきました。

子どもたちは、豆やひき肉が入ったトマト味のキーマカレーをおいしくいただきながら、海上保安庁のお仕事を紹介する動画を視聴したり、体育館でマスコットキャラクター「うーみん」と触れ合ったりして、楽しい時間を過ごすことができました。

学年のまとめの時期を迎えます。体調に気を付けて元気に過ごせますよう、保護者・地域の皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

校長 岡本 恵理子 教職員一同



いつもの給食のカレーとは一味違う
「海保カレー」をおいしくいただきました



いただいた「海上保安帳」ノートを手に
うーみんを囲んでハイチーズ!

